



- 昭和36年11月3日 『近代日本貿易史』（京都大学教授松井清を代表とする共同研究）に  
対し毎日学術奨励金が授与される
- 昭和38年6月18日 長女洋子出生
- 昭和39年4月1日 関西大学学生相談主事（昭和40年9月30日まで）
- 昭和39年4月1日 関西大学経済・政治研究所（第2部）研究員（昭和41年3月31日ま  
で）
- 昭和41年4月1日 関西大学経済・政治研究所（第2部）研究員（昭和42年3月31日ま  
で）
- 昭和42年4月1日 関西大学商学部教授昇任、現在に至る
- 昭和42年4月1日 関西大学在外研究員としてロンドン大学（LSE）に1年間の研修を  
命ぜられる
- 昭和43年6月1日 関西大学学生部長代理（昭和44年7月5日まで）
- 昭和43年12月20日 高知大学（文理学部経済学科）非常勤講師（集中講義）
- 昭和44年7月11日 関西大学商学部長（昭和44年10月6日まで）
- 昭和44年7月11日 関西大学評議員会評議員（昭和44年10月6日まで）
- 昭和44年7月11日 関西大学協議会協議員（昭和44年10月6日まで）
- 昭和44年9月8日 関西大学学長事務代行代理（昭和44年10月6日まで）
- 昭和44年10月7日 関西大学協議会協議員（昭和46年5月31日まで）
- 昭和44年10月30日 改革準備委員会委員（昭和44年11月30日まで）
- 昭和45年4月1日 福岡大学（商学部）非常勤講師（昭和60年度を除き昭和62年3月31  
日まで継続）
- 昭和46年4月1日 龍谷大学（経営学部）兼任講師（平成2年3月31日まで継続）
- 昭和46年4月30日 改革調査委員会委員
- 昭和46年6月1日 関西大学協議会協議員（昭和48年5月31日まで）
- 昭和47年11月2日 『両大戦間期のアジアと日本』（京都大学教授小野一郎を代表とす  
る共同研究）に對し毎日学術奨励金が授与される
- 昭和48年2月19日 高知大学（文理学部経済学科）非常勤講師（集中講義）
- 昭和48年4月1日 立命館大学（経営学部）非常勤講師
- 昭和48年10月1日 関西大学学部学生相談主事（昭和49年9月30日まで）

- 昭和48年10月16日 京都大学（大学院経済学研究科）非常勤講師
- 昭和50年1月20日 金沢大学（法文学部）非常勤講師（集中講義）
- 昭和51年10月16日 国際経済学会理事就任（昭和53年10月15日まで）
- 昭和52年4月1日 関西大学考古学等資料室管理運営委員会委員（昭和54年3月31日まで）
- 昭和52年4月1日 立命館大学（経営学部）非常勤講師（昭和55年3月31日まで継続）
- 昭和53年4月1日 関西大学教職課程委員会委員（昭和55年3月31日まで）
- 昭和53年4月1日 関西大学教職課程委員会副委員長（昭和55年3月31日まで）
- 昭和53年10月15日 国際経済学会常任理事就任（平成6年10月まで）
- 昭和55年10月1日 関西大学広報委員会委員（昭和56年9月30日まで）
- 昭和56年4月1日 大学院委員会委員（昭和58年3月31日まで）
- 昭和56年10月1日 関西大学一般教育等研究センター研究員（昭和57年9月30日まで）
- 昭和59年10月1日 学校法人関西大学評議会評議員（昭和63年9月30日まで）
- 昭和60年4月1日 関西大学経済・政治研究所研究員（昭和62年3月31日まで）
- 昭和60年4月1日 関西大学在外研究員としてロンドン大学（LSE）に半年間の研修を命ぜられる
- 昭和62年4月1日 関西大学経済・政治研究所（第2部）研究員（昭和64年3月31日まで）
- 昭和62年4月1日 関西大学経済・政治研究所（第2部）幹事（昭和64年3月31日まで）
- 昭和62年4月1日 京都大学（大学院経済学研究科）非常勤講師
- 昭和63年10月1日 関西大学入学試験実行委員会委員（平成2年3月31日まで）
- 平成4年11月24日 京都大学から論文『古典派貿易理論の展開』により博士（経済学）の学位を授与される
- 平成6年4月1日 関西大学大学院商学研究科長（平成6年9月30日まで）
- 平成6年4月1日 関西大学大学院委員会委員（平成6年9月30日まで）
- 平成6年4月1日 関西大学教育助成基金助成委員会委員（平成6年9月30日まで）
- 平成6年10月1日 関西大学大学院商学研究科長（平成7年3月31日まで）
- 平成6年10月1日 関西大学大学院委員会委員（平成7年3月31日まで）
- 平成6年10月1日 関西大学教育助成基金助成委員会委員（平成7年3月31日まで）

- 平成7年4月1日 関西大学大学院商学研究科長（平成7年9月30日まで）  
 平成7年4月1日 関西大学大学院委員会委員（平成7年9月30日まで）  
 平成7年4月1日 関西大学国際交流主事（平成7年9月30日まで）  
 平成8年4月1日 関西大学出版委員会委員（平成8年9月30日まで）  
 平成8年4月1日 関西大学博物館運営委員会委員（平成10年3月31日まで）  
 平成8年4月1日 関西大学経・商両学部情報施設等管理運営委員会委員（平成10年3月31日まで）  
 平成8年4月1日 関西大学経・商両学部情報施設等管理運営委員会委員長（平成10年3月31日まで）

## 著 作 目 録

### 【著 書】

- |              |     |       |
|--------------|-----|-------|
| 貿易論講義—改訂版—   | 玄文社 | 1984年 |
| 古典派貿易理論の展開   | 同文館 | 1991年 |
| 貿易論講義—改訂増補版— | 玄文社 | 1993年 |
| 国際分業と外国貿易    | 同文館 | 1997年 |

### 【編 著】

- |               |                                  |       |
|---------------|----------------------------------|-------|
| 世界経済と帝国主義     | 小野一一郎・行沢健三と共編 有斐閣                | 1973年 |
| 南北問題入門        | 小野一一郎と共編 有斐閣                     | 1979年 |
| 両大戦間期のアジアと日本  | 小野一一郎と共編 大月書店                    | 1979年 |
| 貿易論を学ぶ        | 有斐閣                              | 1982年 |
| 現代世界経済論の課題と日本 | 同文館                              | 1989年 |
| 経済摩擦と構造変化     | 研究双書・経済摩擦と構造変化 第69冊 関西大学経済・政治研究所 | 1989年 |
| 貿易論を学ぶ [新版]   | 有斐閣                              | 1994年 |

### 【論 文】

- |                |                       |         |
|----------------|-----------------------|---------|
| 資本の絶対的過剰生産について | 経済論叢 第71巻第5号 京都大学経済学会 | 1953年5月 |
|----------------|-----------------------|---------|

マルクス「経済批判体系」研究序説	経済論叢 第72巻第6号 京都大学経済学会	1953年12月
マルクスの「経済学批判体系」とレーニンの『帝国主義論』	経済論叢 第74巻第5号 京都大学経済学会	1954年11月
マルクス派貿易論	世界経済論 第37号 世界経済研究協会	1957年5月
資本輸出論の問題点	経済評論 第6巻第10号 日本評論社	1957年10月
トレンズの外国貿易論について	国際経済 第11号 国際経済学会	1960年1月
比較生産費説の生成にかんする一考察	経済研究(一橋大学研) 第11巻第1号 岩波書店	1960年1月
戦後の貿易論争	経済セミナー 第44号 日本評論社	1960年6月
古典派経済学と国際分業論	経済論叢 第96巻第3号 京都大学経済学会	1965年9月
国際経済研究の理論的体系化に向って	世界経済評論 1996年3月号 世界経済研究協会	1966年3月
国際経済学における国家範疇をめぐって	国際経済 第18号 国際経済学会	1967年10月
レーニンと世界経済論	経済 NO.72 新日本出版社	1970年4月
経済学の諸分野の学び方—外国貿易論—	経済 NO.85 新日本出版社	1971年5月
外国貿易の必然性と作用に関する諸問題	関西大学商学論集 第19巻第3号 関西大学商学会	1974年10月
リカードウ外国貿易論をめぐる若干の諸問題	関西大学商学論集 第22巻第3号 関西大学商学会	1977年10月
経済摩擦についての一考察	産業セミナー年報1985 関西大学経済・政治研究所	1985年12月
外国貿易・資本の「文明化」作用について	関西大学商学論集 第31巻第3号 関西大学商学会	1986年11月

- J. S. ミルの世界市場競争論の検討 福岡大学商学論叢 第33巻第1号 1988年6月  
福岡大学総合研究所
- リカードウ「比較生産費説」の論理構造とそれをめぐる最近の解釈 (I) 関西大学商学論集 第35巻第1号 1990年4月  
関西大学商学会
- リカードウ「比較生産費説」の論理構造とそれをめぐる最近の解釈 (II) 関西大学商学論集 第35巻第2号 1990年6月  
関西大学商学会
- 【共同執筆】**
- アメリカ帝国主義による日本貿易の管理と支配 日本資本主義講座 第5巻 岩波書店 1953年12月
- 世界市場と恐慌 島恭彦・松井清編 経済学講座 第3巻 大月書店 1954年10月
- 戦後の日本貿易 松井清編 日本貿易読本 東洋経済新報社 1955年8月
- 第一次大戦から第二次大戦終了までの日本貿易 松井清編 日本貿易読本 東洋経済新報社 1955年8月
- 近代経済学による日本経済分析とその政策—貿易— 岸本誠二郎・都留重人編 講座近代経済学批判 IV 東洋経済新報社 1957年11月
- 資本輸出 有沢廣巳・都留重人編 現代資本主義講座 5 東洋経済新報社 1959年2月
- 1882年—1893年 (明治15年—26年) における日本貿易 松井清編 近代日本貿易史 第1巻 有斐閣 1959年4月
- 日鮮貿易 松井清編 近代日本貿易史 第1巻 有斐閣 1959年4月
- 近代経済学による日本貿易分析 小島清編 論争・経済成長と日本貿易 弘文堂 1960年4月
- 製造業—重工業・軽工業— 松井清編 貿易為替の自由化 三一書房 1960年6月
- 国際貿易セミナーII・マルクス経済学派 赤松要・堀江薫雄他編 講座国際経済 第3巻 有斐閣 1961年11月

- |                           |                               |          |
|---------------------------|-------------------------------|----------|
| 独占資本主義の確立と外国貿易            | 松井清編 近代日本貿易史 第3巻 有斐閣          | 1963年5月  |
| 日本貿易の歩み                   | 松井清編 日本貿易読本(全面的改訂版) 東洋経済新報社   | 1964年9月  |
| 経済学批判体系と「資本論」             | 宇佐美誠次郎編 マルクス経済学体系 第2巻 有斐閣     | 1966年6月  |
| 国際通貨基金の成立                 | 松井清編 現代資本主義と国際通貨 法律文化社        | 1970年6月  |
| 帝国主義と世界の領土的分割             | 島恭彦・宇高基輔他編 新マルクス経済学講座 第2巻 有斐閣 | 1972年10月 |
| 資本主義と国際分業                 | 小野一郎・行沢健三・吉信肅共編 世界経済と帝国主義 有斐閣 | 1973年5月  |
| 貿易と国際収支の統計                | 大橋隆憲・高木秀玄他編 経済統計 有斐閣          | 1973年7月  |
| 「外側にむかっの国家」と外国貿易          | 原田三郎編 資本主義と国家 ミネルヴァ書房         | 1975年12月 |
| 経済学批判プランと「資本論」            | 種瀬茂・深町郁弥他編 マルクス経済学の基礎知識 有斐閣   | 1976年11月 |
| プラン後半体系と国家範疇              | 種瀬茂・深町郁弥他編 マルクス経済学の基礎知識 有斐閣   | 1976年11月 |
| プラン後半体系の理論的性格             | 種瀬茂・深町郁弥他編 マルクス経済学の基礎知識 有斐閣   | 1976年11月 |
| 南北問題と新国際経済秩序(NIEO)        | 吉信肅・小野一郎共編 南北問題入門 有斐閣         | 1979年2月  |
| 日本の対植民地貿易—その統計的検討—        | 吉信肅・小野一郎共編 両大戦間期のアジアと日本 大月書店  | 1979年12月 |
| 現代帝国主義体制と発展途上国            | 林直道・杉本昭七共編 今日の日本資本主義 大月書店     | 1981年10月 |
| 国家(国民経済)・国際経済・世界経済—方法的考察— | 奥村茂次・村岡俊三共編 マルクス経済学と世界経済 有斐閣  | 1981年10月 |

- |                               |             |                     |              |          |
|-------------------------------|-------------|---------------------|--------------|----------|
| 貿易論を学ぶために                     | 吉信爾編        | 貿易論を学ぶ              | 有斐閣          | 1982年12月 |
| 貿易論の前提としての国家                  | 吉信爾編        | 貿易論を学ぶ              | 有斐閣          | 1982年12月 |
| 資本主義と国際分業                     | 吉信爾編        | 貿易論を学ぶ              | 有斐閣          | 1982年12月 |
| 経済の国際化と貿易・国際収支統計              | 高木秀玄・大屋祐雪他編 | 経済統計学講義             | 有斐閣          | 1984年2月  |
| 近代貿易理論と国家                     | 鈴木重靖編       | 近代貿易理論の解明           | 大月書店         | 1987年2月  |
| 経済摩擦の政治経済学                    | 吉信爾編        | 研究双書・経済摩擦の研究 第65冊   | 関西大学経済・政治研究所 | 1988年3月  |
| 経済摩擦・円高とその国内生産への影響—「空洞化」論の検討— | 吉信爾編        | 研究双書・経済摩擦と構造変化 第69冊 | 関西大学経済・政治研究所 | 1989年3月  |
| 現代世界経済論の理論的体系化                | 吉信爾編        | 現代世界経済論の課題と日本       | 同文館          | 1989年3月  |

## 【辞典項目】

- |        |               |           |         |         |
|--------|---------------|-----------|---------|---------|
| 比較生産費説 | 大阪市立大学経済研究所編  | 経済学辞典（初版） | 岩波書店    | 1965年9月 |
| 国際通貨基金 | 日本現代史辞典編集委員会編 | 日本近現代史辞典  | 東洋経経新報社 | 1978年4月 |
| 自由貿易論  | 経済学辞典編纂委員会編   | 大月経済学辞典   | 大月書店    | 1979年4月 |
| 貿易利益   | 経済学辞典編纂委員会編   | 大月経済学辞典   | 大月書店    | 1979年4月 |
| 超保護主義  | 経済学辞典編纂委員会編   | 大月経済学辞典   | 大月書店    | 1979年4月 |
| 比較生産費説 | 経済学辞典編纂委員会編   | 大月経済学辞典   | 大月書店    | 1979年4月 |
| 相互需要説  | 経済学辞典編纂委員会編   | 大月経済学辞典   | 大月書店    | 1979年4月 |



保護貿易論	経済学辞典編纂委員会編 大月経 济学辞典 大月書店	1979年 4月
外国貿易論	経済学辞典編纂委員会編 大月経 济学辞典 大月書店	1979年 4月
比較生産費説 (改稿)	大阪市立大学経済研究所編 経済 学辞典 (第2版) 岩波書店	1979年 6月
貿易統計	大阪市立大学経済研究所編 経済 学辞典 (第2版) 岩波書店	1979年 6月
自由貿易・保護貿易	大阪市立大学経済研究所編 経済 学辞典 (第3版) 岩波書店	1992年 3月
比較生産費説 (改稿)	大阪市立大学経済研究所編 経済 学辞典 (第3版) 岩波書店	1992年 3月
ジェームス・ミル	大阪市立大学経済研究所編 経済 学辞典 (第3版) 岩波書店	1992年 3月
貿易統計 (改稿)	大阪市立大学経済研究所編 経済 学辞典 (第3版) 岩波書店	1992年 3月

## 【書 評】

山本二三丸著『恐慌論研究』	吉村達次・鈴木重靖他と共同執筆 経済論叢 第67巻第1号 京都大 学経済学会	1951年 1月
松井清『貿易商社論』	エコノミスト 第30巻第35号 毎 日新聞社	1952年11月
エルスナー『経済恐慌』	経済論叢 第73巻第6号 京都大 学経済学会	1954年 6月
ソ同盟「経済学教科書」によせて	経済評論 第4巻第6号 日本評 論社	1955年 6月
「平和貿易」実践記録をよんで	カリキュラム 第80号 誠文堂新 光社	1955年 8月
建林正喜『外国貿易と産業循環』	世界経済評論 第5巻第8号 世 界経済研究協会	1961年 8月

- フリッツ・エンデルライン『社会主義 関西大学商学論集 第7巻第1号 1962年4月  
国と資本主義国との間の国際分業』 関西大学商学会
- 町田実『最新国際貿易総論』 世界経済評論 第16巻第1号 世 1972年10月  
界経済研究協会
- 林栄夫・柴田徳衛他『現代国際財政論』 世界経済評論 第18巻第5号 世 1974年5月  
界経済研究協会
- <談話室>タマス・センテス、アジア・ 赤旗 日本共産党中央委員会 1992年3月  
アフリカ研究所訳『世界経済の転換—  
激動期の世界経済論』(学文社・2400円)

## 【資料紹介】

- ルドルフ・ブラウアー『社会主義国際 関西大学商学論集 第8巻第6号 1964年2月  
分業と社会主義諸国の外国貿易の経済 関西大学商学会  
的利益測定の諸問題』(1)
- ルドルフ・ブラウアー『社会主義国際 関西大学商学論集 第9巻第1号 1964年4月  
分業と社会主義諸国の外国貿易の経済 関西大学商学会  
的利益測定の諸問題』(2)

## 【翻 訳】

- グンター・コールマイ『社会主義世界 松井清と共訳 日本評論社 1957年  
市場』

## 【その他】

- 現在の経済不況はいつまで続くか—現 関西大学新聞 第142号 関 1958年6月5日  
況は樂觀できない 西大学新聞会
- 『資本論』百年とロンドン 関西大学商学部ゼミ協新聞 1968年7月1日  
同ゼミ協
- 『資本論』百年とロンドン 世界経済評論 第12巻第8号 世 1968年9月  
界経済研究協会
- 追悼講演・松井清教授の学問を偲んで 経済論叢 第110巻第5号 京都 1972年11月  
大学経済学会
- 追悼・松井清先生の学問を偲んで 経済 第107号 新日本出版 1973年3月24日  
社

- 建林隆喜君の思い出の一齣 大阪経済大論集 第162号 1985年3月24日  
大阪経大会
- 世界貿易の不均衡と経済摩擦 経済 第273号 新日本出版 1987年1月1日  
社
- リカードウの謎 経済 第293号 新日本出版 1988年9月1日  
社
- 「ボーダーレス・エコノミー」に寄せて 経済 第312号 新日本出版 1990年4月1日  
社
- コンピュータを利用した社会科学研究 ノモス 第2号 関西大学法 1991年12月31日  
学研究所
- 追悼講演・木田和雄名誉教授の学問を 関西大学商学論集 第40巻第 1995年6月25日  
偲んで 2号 関西大学商学会